

令和5年度まちづくり懇談会開催結果報告書

1 目的

市の重点施策をテーマに、市民へ基本的な考え方や現時点での方向性について説明し、理解を求めるとともに、対話を通じて市民の意見を引き出し、市政運営における課題抽出と今後の新たな施策づくりに反映させることを目的とする。

2 開催日時 令和5年7月21日（金）18時30分～20時15分

3 開催場所 留萌産業会館 2階大ホール

4 参加者数 60名（他 市議会議員 11名）

5 開催内容

【1部 説明】

- (1)市政の取組状況及び財政運営等
- (2)モンベル誘致の道の駅るもいの将来像

【2部 フリーディスカッション】

中西市長と総合計画市民会議座長（伊端氏）との対談方式
全体を通しての質疑応答

(1) 開会挨拶（市長）

▼多くの市民の皆様に来ていただいたこと、感謝申し上げます。

▼約3年間コロナが猛威をふるっていたが、市政運営を怠っていたわけではなく、その中で出来ることを私たちはやってきた。まだまだ市内でも罹患者がいることもあり、これからもウィズコロナで市民の生活や経済活動を回していきたいと考えている。

▼様々な課題について、こういった場をたくさん設け、市民の声を聴きながら、議会とも議論を重ね、市政というものが成り立っていくのだと考えている。

(2) 説明

- ・市政の取組状況及び財政運営等

市長 中西俊司

- ・モンベル誘致の道の駅るもいの将来像

副市長 渡辺稔之

(3) フリーディスカッション

座長の伊端氏からモンベルに関する質問を行い、市長が回答するトーク形式

(質問1) モンベルは本当にくるんですか？

(回答1) 説明でもあったとおり、火曜日(7/18)にモンベルの辰野会長と話し、辰野会長から「現在の経済状況をみたうえで、もう一度、いちから始めてよい。ただ、留萌には間違いなくいきます。」と言ってもらえた。

(質問2) 本当に41億円かからないの？

(回答2) 副市長の説明でもあったとおり、全体で41億円というだけで拠点施設については、14億円で分散されている。辰野会長からオーダーをいただいているが、残りの部分については、半分にする等、もう少し考えても良いとメッセージをもらっている。

(質問3) モンベルの提案の見直し、見送りありですね

(回答3) はい、あります。

(質問4) 市の持ち出し2～3億円って本当ですか？

(回答4) はい、そうです。

(質問5) 場所は船場公園で決まりですか？

(回答5) 決まりです。

(質問6) 公園(広場)なくなりますか？

(回答6) 副市長の説明でもあったとおり、これからの課題である。

(質問7) 「地元の恩恵」って何？

(回答7) 多くの交流人口、多くの方が道の駅にきている。その人たちが違う目的でくるといことでそこから違う流れがまちのためにできると考えている。

(質問8) アウトドア観光どう推進するの？

(回答8) これからの働き方改革、例えば、来年からトラックドライバーの時間外勤務の制度が変わるなど、仕事と余暇、これを切り離しながら人生を求めていくということが心のゆとりに繋がっていくと考えている。

(質問9) モンベルは撤退しないの？

(回答9) 撤退しない。

(質問10) 今後の財政負担大丈夫？

(回答10) 財政運営というのは、常にバランスを組んでいかないと考えている。

市の歳入というのはあくまでも市税と交付税、これが主に占めている。

他にも、事業をやることによつての補助金やふるさと納税として入ってくるお金をみながら全体的な支出を判断していく状況。

質疑応答

(4) 閉会挨拶（市長）

▼今日は参加していただき、ありがとうございました。

▼皆様の意見を尊重しながら、進めていきたい。

▼賛成反対は絶対あるが、市と議会で協議しながら、進めさせていただきたい。

まだまだ聞きたいことがあれば、皆様の声を行政に届けてもらえたらと思う。